

令和4年第8回教育委員会議事録

開催日時 令和4年8月26日(金)
午前9時30分～午前10時30分

場所 八潮メセナ 集会室

出席者 教育長 井上 正人
教育長職務代理者 加藤 正道
委員 木下 史江
委員 高橋 洋一
委員 田口 理恵

事務局出席者 教育総務部長 荒浪 淳
学校教育部長 山本 誠
教育総務部副部長兼教育総務課長
千葉 靖志
教育総務部副部長 井上 隆雄
学校教育部副部長 高橋 大祐
文化財保護課長 高山 治
学務課長 山内 修
指導課長兼小中一貫教育推進室長
和田 進
学校ICT推進課長 菅谷 昌史
教育総務課庶務係長 関根 郁也

○ 開会の言葉及びあいさつ 井上教育長

会議事項

1. 会議録の承認について

(1) 令和4年第7回教育委員会定例会分

【出席教育委員全員が承認】

2. 教育長諸報告について [別紙のとおり]

3. 議 題

議案第38号 [説明者 千葉教育総務部副部長兼教育総務課長]

令和4年度八潮市一般会計補正予算案の提出について

教育に関する事務に係る部分の歳出補正予算案及び繰越明許費補正案を八潮市長に要求することについて、議決を求める。

令和4年8月26日提出

八潮市教育委員会教育長 井 上 正 人

提 案 理 由 歳出予算の過不足及び事業の繰り越しを見込み、令和4年度八潮市一般会計補正予算案として八潮市長に要求するため、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

な し

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

議案第39号 [説明者 小林社会教育課長（井上教育総務部副部長が代理説明）]

八潮市指定管理者候補者選定委員会に対する諮問について

八潮市立八條図書館及び八潮市立八條公民館の指定管理者候補者について、八潮市公の施設の指定管理者の指定の手續等に関する条例（平成17年条例第27号）第7条第2項の規定により、別紙のとおり八潮市指定管理者候補者選定委員会に諮問したいので、議決を求める。

令和4年8月26日提出

八潮市教育委員会教育長 井 上 正 人

提 案 理 由 八潮市立八條図書館及び八潮市立八條公民館の指定管理者候補者の選定について、八潮市指定管理者候補者選定委員会に諮問するため、この案を提出するものである。

【資料説明】

[質 疑]

な し

[教育長が採決を行い、出席委員全員の賛成により承認される。]

4. 各部課長報告・連絡事項

●荒浪教育総務部長

(1) 令和4年第3回八潮市議会定例会会期及び日程表（案）について

会期は9月1日から9月21日までの21日間で、9月9日に総括質疑、12日に総務文教常任委員会、15日、16日、20日に一般質問、21日に採決という予定となっております。なお、一般質問につきましては、9月2日が通告日となっておりますので、後日、皆様に質問事項をお知らせいたします。

また、毎月報告させていただいている市民の声ボックスでございますが、7月分は教育委員会に対する投書はございませんでした。

●山本学校教育部長

(1) 東部教育事務所学校管理訪問について

6月28日、7月12日、13日の3日間で、東部教育事務所の所長、副所長、

主席管理主事及び管理主事と市内全ての小中学校を回り、諸表簿の閲覧、校舎内外の巡視等を実施いたしました。事前に井上教育長を中心に全ての学校を訪問し確認しておりましたので、概ね適正に管理されていると評価をいただきました。学校管理訪問の中では学校長、教頭及び主幹教諭との話合いがあり、初任者の指導育成、令和3年度に実施した不祥事根絶に係る研修の実施状況、教員の働き方改革、学校管理上の特色及び主な課題点の解決策といった内容について、新任校長は90分間、それ以外の校長は45分間、非常に密度の濃い時間でした。また、ある小学校では働き方改革を校長の責任と捉え、在校時間の把握や教職員の負担軽減のため、教科担任制を一部導入し成果が表れていることについて評価していただきました。

(2) 市内小中学校の様子について

2学期が始まってからの市内小中学校の新型コロナウイルスの感染状況ですが、8月22日から25日までで教職員も含めて64名の陽性者が発生しております。夏季休業明けにおける新型コロナウイルス感染症への対応について、新聞等でも報道されておりますが、学校で児童生徒及び教職員の新型コロナウイルス感染が確認された場合の対応ガイドラインの改定について、文科省から通知がありましたので、これに基づき学務課でフローチャートを作成し、学校の運営を行っております。

●千葉教育総務部副部長兼教育総務課長

(1) 令和4年度教育委員会点検・評価について

教育総務課資料1-1をご覧ください。毎年実施しております、教育委員会点検・評価の実施についてございます。はじめに、目的でございますが、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表することと

されております。また、点検・評価を行うに当たっては、教育に関し、学識経験を有する者の知見の活用を図るものとされております。こうしたことから、教育総務課資料1-2の「八潮市教育行政点検評価実施要綱」及び裏面の「八潮市教育行政点検評価委員会設置要綱」に基づき点検・評価を実施するものでございます。次に点検・評価の対象事業でございますが、各課資料のとおりでございます。点検・評価の方法につきましては、対象事業について、事務事業評価シートに基づき点検、評価を行ったうえで、八潮市教育行政点検評価委員会設置要綱第3条に規定する委員から意見をいただき、点検・評価報告書を作成するものでございます。ご意見等を賜ります八潮市教育行政点検評価委員につきましては、資料のとおりでございます。元八潮市立大原小学校長の丸山先生他2名でございます。スケジュールについてですが、今年度から内容を変更しております。昨年度までは、点検評価の対象事業を担当課で選定しておりましたが、市長部局で実施している外部評価では、評価委員に事業選定をいただいていることから、今年度より市長部局に合わせ、評価委員に事業選定をいただくこととしております。資料のスケジュールにもお示ししておりますが、書面開催の第一回説明会で事業選定をいただいております。過去3年間で点検評価の対象事業となったものや国・県が主体となっている事業などを除く全ての事業をあらかじめ評価委員にお示ししており、その中から選定していただいております。第2回説明会以降は資料にございます日程通り行いまして、庁議を経て議会へ報告書を提出するものでございます。

(2) 小中学校体育館空調設備の設置について

現在、八潮中学校、大原中学校、潮止小学校の体育館空調設備設置工事の実施設計を進めておりますが、新型コロナウイルス感染症などの影響に伴い、機材、部品の価格や人件費が高騰しており、電気設備工事に係る盤関係の部品においては、入手が困難な状況が続いていることから、工事費や工期に大きな影響を与えているため、小中学校体育館空調設備の設置スケジュールの変更や補

正予算を資料のとおり行いたいと考えております。2の設置スケジュールの変更についてですが、今年度は、八潮中学校、大原中学校、潮止小学校の設計・工事を予定しておりましたが、大原中学校については、規模が大きく当初予算よりも大幅な増額や工期の延長が見込まれ、現在、工事費を積算しておりますが、令和4年9月議会の補正予算要求に間に合わないことから、当該3校の設計と八潮中学校、潮止小学校のみ工事を行い、大原中学校は、令和5年度に工事を行いたいと考えております。

なお、八潮中学校、潮止小学校の工期は、部品調達に時間を要するため、年度内での完了が見込めず、令和5年6月末まで工期を延長して発注を予定していることから、令和4年9月議会において繰越明許費の議案を提出するものでございます。スケジュールの概要の表をご覧くださいますと、八潮中学校・大原中学校・潮止小学校のスケジュールをお示ししておりますが、3校とも令和4年8月末まで設計を完了させ、八潮中学校と潮止小学校は、10月から11月頃にかけて着工し、令和5年6月に完了する予定で、大原中学校は令和5年5月頃から、1年間かけて設置する予定でございます。体育館空調設備が未設置な学校は、令和7年度までに設置を完了するよう進めて行きたいと考えております。

●小林社会教育課長（井上教育総務部副部長が代理説明）

（1）令和4年度命の大切さを学ぶ講座について

本年度も市内中学3年生を対象とした命の授業を資料のスケジュールの通り実施します。コロナウィルス等の関係で赤ちゃんゲストは予定しておりませんが、命の大切さと生きることの責任を改めて考える講座となっております。

開催にあたりましては、新型コロナウイルス感染防止に十分に留意し、学校との連携を密にしながら進めてまいりたいと考えております。

（2）生涯学習学校開放講座について

本年度下半期にかけましても資料PR版のとおり、学校開放講座を実施してまいります。講座の開設にあたっては、新型コロナウイルス感染防止に十分に留意し、学校との連携を密にしながら進めてまいりたいと考えております。

●高山文化財保護課長

(1) 資料館講座「地図と航空写真にみる八潮の歴史」実施結果について

今回の講座は、江戸時代の20か村が、明治の大合併、昭和の大合併を経て八潮村となり、現在の八潮市にいたるまでの移り変わりを絵図や地図、航空写真を使い紹介する内容といたしました。当日の参加者は16名で、講座終了後の参加者アンケートでは「八潮の歴史が良くわかり、今後もれきナビを利用し、学びを深める機会になりました。」「八潮市の歴史が理解できました。新住民なので勉強になりました。」等の意見が寄せられ、概ね好評を得たものと考えております。一方で、使用する地図の大きさや写真の使い方等について改善を求める意見もあり、今後の講座に活かしてまいりたいと思っております。

(2) 体験講座「勾玉をつくろう！」実施結果について

本講座は、古代の装身具「勾玉」の製作体験を通じ、埼玉と勾玉の関係や勾玉が使われていた時代に興味を抱いていただくことを目的に開催いたしました。参加人数は17名で、うち76%が小学生でした。資料の裏面に参加者の感想を載せております。「おもしろかった。」「楽しかった。」といった意見が多く、楽しみながらわが国の歴史や文化に触れあう機会となったのではないかと考えております。

(3) 第47回企画展「八潮建物解体新書」の開催について

今回の展示会は、市内文化財建造物3件が国登録文化財に登録されたことを記念し開催するものです。展示では、登録された文化財のほか、市内に遺る文化財建造物も合わせて取り上げ、建造物の構造や意匠、建築技法、建築に携わる職

人について紹介しています。建造物の観察ポイント等もご理解いただける内容となっており、9月19日まで開催しておりますので、この機会に是非ご観覧賜りますとともに、文化財建造物の現地へも足をお運びいただきますようご案内申し上げます。

(4) 宮内庁宮内公文書館・春日部市郷土資料館共催「八潮の御鷹場・御猟場」の開催について

現在、資料館1階廊下・ロビーを会場に開催している「八潮の御鷹場・御猟場」は、宮内庁宮内公文書館・春日部市郷土資料館共催の企画展「明治天皇と春日部」の連携展示です。徳川将軍家の御鷹場、その後皇室の御猟場として歩んできた本市の歴史的側面をコンパクトにまとめ紹介し、本展「明治天皇と春日部」を補完する内容としています。9月4日までの会期となっておりますので、企画展と合せご観覧いただきたくご案内申し上げます。

(5) 博物館実習の実施について

資料館では、8月23日から9月3日まで10日間の予定で博物館実習を実施しております。実習生は大学で博物館学芸員の資格取得を目指す学生で、7大学から9名を受入れ、館職員指導のもと実務体験の機会を提供しています。

●山内学務課長

(1) 学校給食について

2学期の学校給食は、8月29日（月）からスタートします。開始前の準備段階で、各学校を訪問し配膳室周辺を重点的に確認しました。2学期が開始しているということもあり、整理整頓され綺麗な環境でした。また、保冷剤の使用に関する確認と牛乳用冷蔵庫の動作確認も行いました。併せて、給食提供事業者にも消毒を中心とする衛生管理の徹底を申入れたところでした。

また、学校給食ビジョンの中間報告（案）につきまして、パブリックコメントを実施しております。現在、受付期間中で、取りまとめを行っているところでご

ございますので、詳細につきましては申し訳ございませんが、まだお示しすることができない状況です。9月2日に提出期限を迎えますので、その後、速やかに取りまとめ、当定例会でご報告申し上げたいと考えております。

(2) 八潮市「学校における働き方改革基本方針」の改定について

これまで本市におきましては、県の「学校における働き方改革基本方針」を基に、令和2年9月に八潮市「学校における働き方改革基本方針」を策定し、市内教職員の働き方改革について推進してまいりました。本市の基本方針の主な内容としましては、ICカードによる教職員の出退勤管理の整備や8月のお盆期間中の学校閉庁日の設定、障がい者会計年度任用職員や市費任用による補助教員等の配置などがあり、基本方針に基づき進めてきたところでございます。そのような中、令和4年4月に県の「学校における働き方改革基本方針」において改訂版が示されたことから、本市におきましても県の基本方針改訂版をうけ、八潮市「学校における働き方改革基本方針」を改定することといたしました。現在、新たな基本方針の「案」を学務課にて作成し市内全小中学校に配布し、教職員から意見を募集したところでございます。今後につきましては、教職員からの意見を踏まえ、働き方改革推進委員会を8月、9月、10月に1回ずつ、計3回開催し、本市の新たな基本方針を練っていく予定でございます。なお、この働き方改革推進委員会の委員につきましては、市内全小中学校から各校1名又は2名ずつ教職員を選出しており、年代別、男女別、職種別を考慮して計18名を選出しております。本市の教育を担う教職員の働き方改革を推進し、学校の教育力を高めるとともに、「八潮市の先生になりたい」、「八潮市で働きたい」そのように思える八潮市となるよう、教育委員会と学校が協力して進めてまいりたいと考えております。また、今後の進捗状況につきましては、追ってご報告申し上げます。

●和田指導課長兼小中一貫教育推進室長

(1) 令和4年7月・8月 事件・事故報告について

事件・事故報告は8件、内訳は、虐待の疑いが3件、夏休み中の交通事故が1件、脅迫メールが1件、家出が1件、窃盗の疑いが1件、迷惑行為が1件でございました。

●菅谷学校 ICT 推進課長

(1) 八潮スタンダード×ICT (ver.1) について

1人1台端末に関しましては、現在、各学校において発達段階等に応じた活用が進められているところですが、市内の先生が共通的な基準(指標)のもとで、ICTを活用した授業展開を実施することを目的に、今年度より小中一貫教育推進検討部会に新たに設置された「ICT部会」において、八潮スタンダードの各段階における授業支援ソフト(ICT)の位置付けについて、検討を行っている状況です。内容といたしましては、最初の「つかむ・見通す」の段階で主にNHKforSchool等の動画ソフトを活用し課題意識等の喚起につなげ、次の「考える」及び「深める」の段階では授業支援ソフトのスクールタクトを活用し意見や考え方の共有を行い、最後の「まとめる」の段階ではグーグルフォームやドリル学習ソフトのeライブラリを活用し学習の定着を図るというものです。なお、この資料については検討段階のものであり、今後、校長会でも説明を行った上で、2学期以降、各学校の先生に取り組んでいただきながら、必要に応じて見直しを行ってまいりたいと考えております。

[教育長諸報告及び部課長報告・連絡事項の一括質疑]

○木下委員

事件事務報告の虐待についてですが、子ども本人から助けを求めたのか、周りの方が気付いたのか、話せる範囲で教えてください。色々な状況があると思いますが、助けを求められる場所が学校であつたら良いと思います。

●指導課長兼小中一貫教育推進室長

虐待については、今回の3件に限らず、子どもから担任に相談があつたり、担任が子どもの様子の変化に気付いたり、身体の傷を見て声をかけて発覚したり、近所の方から警察に通報があり、児童相談所を経て市教育委員会に連絡が入ってくるなど様々ですが、その後の経過も含めて丁寧に観察、対応していきたいと思っております。

○加藤教育長職務代理人

現在もコロナウィルスの感染者が多い状況で、発熱外来やPCR検査を受けられない児童生徒、教職員もいると思いますが、そういった場合の登校の判断基準について変更はありますか。

●山本学校教育部長

発熱や咳症状の場合の基準は今までと変わっておりません。先日、市のコロナウィルス対策本部があり、症状が発症した際の相談先など、流れも示されましたので、校長会を通じて情報共有をしていきたいと思っております。

○高橋委員

文化財保護課の企画展や講座など、興味が惹かれるものが非常にたくさんあり、行ってみたいと思うものが多くなっていますが、内容はどのように決めますか。

●高山文化財保護課長

企画展については職員がテーマを決めて実施しており、テーマについては時季を得た内容や、市民の方に興味を抱いて頂けるような内容というところに重点を置いて決めており、その効果が少しずつ出ていると思っております。

○加藤教育長職務代理人

働き方改革の中で部活動の指導についての話も出ていると思いますが、八潮市はどのように対応していくのか教えてください。

●山本学校教育部長

部活動に関しては非常に大きな問題で、まだ先が見えていない状況ですが、学務課を中心とし働き方改革に関するアンケートを全教職員に対し実施しており、その中に部活動に関する内容も記載しています。今年度3回実施する予定の働き方改革推進委員会の中で部活動についても話題になると思いますが、3回では方針が決まらないと思うので、別の組織の立ち上げや、モデル校を作り検討していく必要があると思っています。

○木下委員

先日、教育委員の研修があり、働き方改革に関する講演を聴いてきました。労働時間、睡眠時間、メンタルヘルス、仕事の満足度など色々な調査をし、その結果が細かく出ていました。例えば長時間労働は主幹教諭、女性教員の方が多い、睡眠時間は教頭先生、女性教員が短い、などといった結果が出ており、これが学校の教育力にも繋がっていると感じました。また、ワークライフバランスも重要で、体調が優れない状態では子どもに良い授業が出来ないので、教員同士や管理職がフォローしているということが資料でも表れていて、管理職が教員をどれだけフォローしているかが大事だと良く分かりました。八潮には八潮の働き方があると思うので、教職員の方々の意見を基本方針に反映して作っていただければ子どもたちにも良い影響があると思います。また、私たち教育委員としては、定例会での発言や総合教育会議での予算に関わる部分で発言をしていかなければいけないと勉強になりました。

●井上教育長

貴重なお話をありがとうございました。

[教育長が定例会閉会の宣言をする]

会議終了。